



# 西の風 vol.4

平成 29 年 7 月 3 日発行  
二宮町立二宮西中学校 学校便り  
発行者 松本雅志

例年になく、雨の少ない6月でした。5月に大きな行事が終了し、6月は期末テストを中心に学習に力を入れる期間となりました。3年生はすでに進路に向けて、自分の具体的な希望を考え始める時期です。自分が将来どのような道に進みたいのか、自分はどのような適性を持っているのかについて、ご家庭でも話し合いしっかりと方向を定めていただきたいと思います。

## ◎読書集会を行いました。

6月13日(火)の1校時、全校で集まり今年度第1回目の「読書集会」を行いました。本校では、平成24年度から全校生徒による朝読書に本格的に取り組み始め、現在では始業前の8時半にはほとんどの生徒が教室で静かに読書をしている状態です。

今回の読書集会では、改めて朝読書の意義や取り組み方法、その効果などについて、本校の研究主任の高谷先生から説明がなされました。その後、校長、田中先生、高谷先生、図書委員長、日野先生から「自分のおすすめの本」の紹介がありました。校長は中学生の時によく読んでいた「横溝正史」の推理小説の紹介をしました。田中先生は「白い犬とワルツを」という命の大切さを扱った小説を、高谷先生は「高さへの挑戦」というスポーツノンフィクション、図書委員長は「陸王」というノンフィクションや「タラ・ダウン」という小説を紹介しました。最後に、国語科の日野先生は小説からノンフィクションまで幅広い本の紹介がされました。最近映画化され話題となっている「君の膵臓を食べたい」や命の大切さを訴えた「甲子園がくれた命」アニメ映画としても有名な「この世界の片隅に」などバラエティーに富み、中学生の時期にぜひ読んでほしい本ばかりでした。

その後、全校生徒で5分間読書を行ない読書集会を終わりました。普段から読書に親しんでいる生徒はもとより、なかなかなじめない生徒でも読書の良さや読書をすることの意味について触れられた良い経験となる時間でした。



◎総合的な学習の時間の体験学習を行ないます

本校では、各学年の総合的な学習の時間に体験学習を行っています。今年度は8月30日（水）に1年生の福祉体験学習、8月31日（木）は2年生の職場体験学習と3年生の地域提言活動となります。

1年生の福祉体験学習は町内の高齢者福祉施設に生徒がうかがい、介助やお話の相手など高齢者福祉について、体験を通して学ぶことを目的としています。2年生の職場体験学習では、町内外の29の事業所に生徒がうかがい、仕事を体験させていただくものです。この体験を通して、仕事の意義や苦勞などについて理解することをねらいとしています。3年生は、1，2年生で学んだことを生かしながら、自分の住む地域に出向き、中学生として地域に貢献できることを発表し、地域の活性化などについて提言しようとするものです。

次期学習指導要領は「社会に開かれた教育課程」をめざし、生徒の学校での学習や生活が将来の人生につながるという理念で編成されています。この点からも本校の総合的な学習の時間における体験学習は大変に意義のあるものと言えるのではないのでしょうか。

教室で学んだことを、実際の社会において生かすことが試されるこの体験学習が、意義のある時間となるように、職員もしっかり準備をして臨みたいと思います。保護者の方々のアドバイスなどもよろしくお願いいたします。

## 3年生 美術科課題 「ねんどde和菓子」



1学期いっぱい、校長室の前に展示してあります。

◎小中学校「乗り入れ授業」について

現在、二宮町の小中学校では、町教育委員会主導のもと、小中一貫教育のカリキュラム作りを進めています。これは、最近課題となっている「中1ギャップ」の解消や「9年間を通じた資質・能力の育成」などを目的として、今年度から小中学校の全ての教職員で取り組んでいるものです。

このカリキュラムづくりの一環として、小学校の先生方が中学校を訪れ、授業を行う「乗り入れ授業」が実施されることとなりました。初年度となる今年度は、まず小学校の先生方に中学校の授業参観からスタートし、小中での授業の違いや共通点などについて理解したうえで、小中一貫カリキュラム作りに取り組むことを考えています。

次期学習指導要領でも小中のつながり、さらには学校と社会とのつながりが意識されています。学校や地域の垣根を低くし、子どもたちの育ちを支える取組にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。